



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：メッカ-メディナ高速鉄道

(2月21日付アラブ・ニュース紙)

サウジアラビアでメッカ-メディナ鉄道プロジェクトが動きだしている。

1. スライスリー運輸相は、アブドゥラー国王がサウジ国内基金を活用し、メッカ-メディナ鉄道プロジェクトを実施するように命じ、この命により、総額 200 億リヤル (53 億ドル) の事業は加速すると述べた。2 聖地 (メッカ、メディナ) を結ぶこの鉄道は、時速 300km を越えて走行し、総延長は 500km、最新式の信号通信設備が導入される。ジッダ-メディナ間は 2 時間弱で走行する (現在は、陸路で 4 時間半を要する)。
2. 同大臣は、線路と駅の設置箇所も既に決定しており、この鉄道が公共交通機関の質を高めるだろうと述べた。消息筋によれば、現在本事業に関する特別委員会が現地を踏査しており、今後用地補償費の見積もりを行う予定である。
3. 本事業は、現在 6 コンソーシアムが入札を認められており、数ヵ月以内に入札が実施され、財務審査・技術審査を経て 2009 年初頭までに 1 ないし 2 コンソーシアムに落札者が決定する見込みである。なお日本からも数社によるコンソーシアムが参加する予定。

<参考>

サルコジ・仏大統領は 2008 年 1 月 13 日、サウジアラビアを訪問してアブドゥラー国王と会談後、仏・サウジ両国間の友好関係の維持、戦略的パートナーの強化を確認し、天然ガス、鉱物資源、教育、航空、軍事分野において仏企業が最大 400 億ユーロ (約 6 兆円) 相当の契約を締結できる見込みであることを明言した。その中には TGV (フランス高速鉄道) を納入しているアルストム (Alstom) がメディナからジッダ経由でメッカまで時速 400 キロで結ぶサウジ版 TGV の計画があることも報じられた。このように仏グループも有力候補の一つに挙っている。